

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	05-01-03-02
事務事業名	ボランティア活動支援事業		根拠法令・要綱等
事業開始年度	平成16年度		問合せ先
総合計画	大項目	住民主体の協働のまちづくり	担当課(室)
	中項目	住民主体で進めるまちづくり	職・氏名
	小項目	ボランティア活動の支援・促進	電話
			64-1806

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	ボランティア活動に関心のある方
目的(何のために)	ボランティア活動の推進と啓発
行政活動(どのような方法で)	ボランティア支援センターを活動の拠点とし、ボランティア活動登録等を行う
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	ボランティア活動に参加したい人を登録し、ボランティア活動の要請があった場合に紹介する。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	ボランティア養成講座開催回数	回		1	0	0
	ボランティア養成講座受講者数	人		14	0	0
	ボランティア登録者数	人		0	2	0
事業費	直接事業費	千円		14	0	0
	人件費			1,139	475	279
	事業費計			1,153	475	279
財源	国県支出金					
	受益者負担	千円				
	市一般財源			1,153	475	279
	必要人員	人		0.12	0.05	0.03
結果指標	結果指標名	単位		平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	ボランティア養成講座受講者数	説明				
	結果指標量	人		14	0	0
	対前年比	%		-	0.0%	
	活動コスト	円		1,153,000	475,000	279,000
単位当たりコスト	円		82,357	475,000	279,000	
結果指標	新規登録者数	説明				
	結果指標量	人		0	2	0
	対前年比	%		-		0.0%
	活動コスト	円			475,000	279,000
	単位当たりコスト	円			475,000	279,000

事業の成果			
成果指標名	新規登録者数	式又は説明	新規登録者数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	0.00	2.00	0
対前年比			0.00%
到達目標値	5	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	前年度のボランティア養成講座の受講者数が余りにも少なかったため、19年度は講座を開設しなかった。
	行政活動	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価<A~E> D 課題認識
	手段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	各種ボランティア団体・NPO法人との連携を密にし、市民ニーズに即したボランティア活動を行うことが必要である。
	職場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価<A~E> D 課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	ボランティア登録している個人・団体あるいはNPO法人に対し、積極的に情報提供をすることが必要である。

平成20年度の状況		説明 ボランティア登録を随時行っている。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了	
目標値	結果指標量 279,000	結果指標量 279,000
	成果指標量 5	

総合評価		19年度はボランティア養成講座を開講しなかった。ボランティア登録については、登録のみでなく情報発信も併せて行っていく必要がある。	評価区分 <A~E> E	

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成20年度で真正・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	ボランティア活動の普及	毎年度	ボランティア登録者数の増加及び情報提供